

(続き) 会社と合弁の会社をつくり、「Mango」という形で販売している。それは会計まで全てつながっている。レジで売り上げを打つと、経理の作業が終わっている。かつて経理が3人いたが、今、売り上げは5倍に伸びたが、経理は1人でやっている。むしろ、人員削減したりということが達成できている。こういったクラウドの会計を使って、自動連携もやっている。会社を継いだ時は、売り上げをダンボール箱に投げ込んで、そこからおつりを出して、まさにダンボール会計で領収証など一切取っていない感じだったが、今は、最近は全てシステムの中で売り上げ、原価、固定費が集まり、ほぼ日次で決算を締めている状態まで来た。当時、倒産寸前だった僕らがなぜ、生き残れたかという話だが、結論から言うと、僕らはお弁当屋さんという業界にこだわっていない。実は、当時のうちの両親とも議論したが、両親は天ぷら屋さんだからと話す。僕は、みんなは天ぷらが食べたくて天ぷらを買っているというより、何かもっと違う理由で天ぷらを買っているのではないかと。そんな話がうちのスタッフから出てきて、それは天ぷらをお土産で渡して喜ばせたいとか、沖縄の行事は結局先祖を思う気持ちだったり、あくまで天ぷらは道具だと。今、沖縄の環境はすごく変わってきた。当時はインターネットで重箱が売れるかだったが、今の若い方とか多くの方がスマートフォンを使っているいろと情報を調べられる時代だと、やっぱり環境変化に適応したというのが非常に大きかったと思う。社内で、経営は環境適応業だから、環境が変わるスピード以上の早さで自分たちも変わろうと話している。ちょうど、今朝の会議でも話したところだ。よく僕は社内で例えに出す例だが、恐竜は非常に大きくて強い生き物だったが、今はほぼ残っていない。かたや、ネズミみたいな

小さなほ乳類が僕らの先祖として生き残ったのは、やはり環境の変化に適応できたのが大きな理由じゃないか。その事例は分かりやすい。(映像) これは茅葺きの茅だが、若い人に見せるとおしゃれな天涯、テントみたいだねと言ひ、茅が何なのか分からない。茅工場はかつて日本中に4、5万社あった。今はわずか5社だ。1万分の1まで減ってしまった。その中でも、元々、茅工場をルーツにして今繁栄している会社がある。どこかという、「ツムラ」。あの入浴剤・バスクリンのツムラだ。ツムラとつぶれていった茅工場の違いは結局何だったかという、茅工場は茅を売っていると自社を定義していた。茅が駆逐された一番の理由は、エアコンだ。まさか、自分たちが電気屋さん仕事に奪われるとは思ってはない。その前段階では、網戸だったり殺虫剤が出ている。決め手となったのはエアコンの登場だったと言われている。つまり、それと同じことで、僕らも天ぷらを買っているのか、お弁当を売っていると定義すると、茅工場と全く一緒だ。僕らが今売っているのは、文化、そして時間と定義している。お弁当は、本質的には、僕らは時間を買っているというふうに言っている。なぜか、お昼ご飯をこうしてゆっくり食べられる時間がある方は食べる。家で作って食べられる人は食べる。でも、時間がないから弁当なのだ。家で作れる人は手持ちの弁当を持って来るはずだ。それでも買ってくるっていうことは、時間がないからだ。と思った時に、弁当の本質的な価値は時間、素早く買える、近くにある欲しいときに買えるのが価値だ。僕らはそういった意味で、自社は一体何者なのかを定義しながら、環境に対し適応していこうというふうに進んでいる。それはそうだが、みんなそうだと動くのだが、ただ、動けない場合もある。(続く) 文責：クラブ会報委員長 松元 剛 (内容が非常に濃く、ストーリー性もあり、今回は特別拡大版と致しました。)

週

報

インスピレーションになろう

Be the inspiration

バリー・ラシン

2018-19年度 国際ロータリー会長



第 2712 号

平成 31 年
1月29日
2019 年
JAN

第 2836 回 例会 報告

例会 記録・予定

出席報告

会 員 数	82 名
出 席 計 算 会 員	81 名
出 席	25 名
欠 席	56 名
出 席 率	30.86%
訂 正 出 席 率	60.49%

出席免除会員名 松元
欠席会員名 親泊、新本、宮城、新垣(典)、安里(政)、上原(義)、中村、碓井、湧川(祐)、比嘉、東川平(靖)、梶原、吉村、与儀、平良(修)、木全、松島、杉本、三反園、長嶺(善)、保田盛、喜屋武、許田、津嘉山、國吉、伊志嶺、具志堅、今福、渡辺、下石、新垣(安)、朱、宜保、吉岡、井手上、白石、北田、上原(進)、与那覇、上原(修)、真栄城、新垣(竜)、安里(繁)、長嶺(国)、川井田、赤嶺、本野、桑野、堀川、桑原、今西、下地、佐久本、相良、義元、高津。
MAKE-UP 山城、松島 < 分区会長幹事会 >
ビジター
伊野波 盛求 氏 (那覇西)
小林 充 氏 (地区 RYLA 副委員長-那覇西)・宮平 良哲 氏 (〃 委員-那覇東)

ビジター 二宮 徹 氏 (福岡城西)
ゲスト 鈴木 健介 氏 (入会予定者-新垣淑典会員)
加賀谷 朋 氏 (二宮 徹 氏ご紹介)

☆プログラム

2月5日 (火)

「データから読み解くカスタマートレンド」
リクルートライフスタイル沖縄
代表取締役社長 有木 真理 氏

2月12日 (火)

那覇 RC 創立 60 周年記念講演会 17:00~17:50
日本子どもみらい支援機構代表 武藤 杜夫 氏
式典点鐘 18:00~18:50 祝賀会 19:00~20:30
於：ロワジールホテル那覇 3階「天妃の間」

■ **理事会** 2月5日 (火) 11:30~

於：パシフィックホテル沖縄 2階「マカハ」

■ **60周年実行委員会** 2月5日 (火) 13:40~14:40

於：ロワジールホテル 3階「天妃の間」

■ **60周年実行委員会** 2月8日 (木) 12:30~

於：パシフィックホテル 1階「オーシャンカフェ」

那 覇 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ

事務局 那覇市西 3-6-1 (パシフィックホテル沖縄1階) TEL 868-1224 FAX 861-4918
E-mail アドレス naha-rc@ml.cosmos.ne.jp **HP アドレス** : <http://naha-rc.org/>
会長 山城 博美 副会長/クラブ奉仕委員長/会長エレクト 上原義信 副会長/クラブカウンセラー 亀川 榮一
幹事 松島 寛和 クラブ会報委員長 松元 剛 副委員長 井手上 功 委員 今福 吉和

■ニコニコ BOX (*^*)

伊野波 盛求 氏 (那覇西)

今年のどうぞ宜しくお願い致します。

山城 博美 会長

当クラブ 60 周年事業及び地区第 1 回 RYLA の成功を祈って。ニコニコ。

森 兵次 会員

「美らしまおきなわセンチュリーランサイクリング大会」1,900 名余の参加で、冬場のスポーツイベントとして、大成功でした。ニコニコ。

米須 義明 会員

イニシエーションスピーチご清聴ありがとうございました。

川畑 盛一 会員

城岳 FC の鹿児島遠征に関し、多大なる寄付を頂き、感謝いたしております。

■幹事報告

新里 哲郎 副幹事

*2月のRIレートが1ドル→110円です。

*他クラブ例会変更・休会

・2/18(月)~2/22(金)までの沖縄区内全クラブの例会は→2/21(木)13:00点鐘「国際ロータリー第2580地区 地区年次大会」ホテルニューオータニ(東京)開催へ振替となります。

* (株)熊平製作所より「抜萃のつづり」が届きました。お帰りの際、お持ち帰り下さい。

* 公益財団法人ロータリー日本財団より、今年度の寄付に対して「確定申告用寄附金領収書」が届きました。各自BOXよりお持ち帰り下さい。尚、再発行はできません。よろしくお願い致します。

■新会員候補者についての通知

理事会で次の方の入会が承認されましたので異議のある方は7日以内に申し出下さい。

氏名: 鈴木 健介 (すずき けんすけ) 氏

職業分類: 声紋分析コンサルティング

職業: (株)ラピッドプログレス 代表取締役

■特別会計 2018~2019年度 ニコニコ BOX

本日のニコニコ BOX ¥10,000
ニコニコ BOX 累計 ¥291,000

■新会員のご紹介 ご入会おめでとうございます



砂川 満邦 (すながわ みつくに) 会員

本籍: 沖縄県 生年月日: 1975年11月26日 委員会: SAA

現住所: 那覇市泉崎 1-11-1 あらかきビル 4-B

職業: 弁護士法人 旭橋法律事務所 代表弁護士

学歴: 早稲田大学社会科学部卒業

職歴: 2010年 司法研修所入所 [旧64期]

2011年 国会議員政策秘書勤務 (茨城県選出国會議員) 2011年 政策秘書試験合格

2012年 沖縄弁護士会入会

2013年 法律事務所 あんしん法務を開所・設立

2018年 弁護士法人旭橋法律事務所に名称変更

職業分類: 刑事弁護士 推薦者: 長嶺 善憲 会員

■会長報告

山城 博美 会長

*本日は地区 RYLA 委員会よりお二方がお見えになっております。今年度よりスタート致しますライラへもよろしくご協力をお願い致します。

*米須会員の「イニシエーションスピーチ」を愉しみにしております。よろしくお願い致します。

*創立 60 周年記念式典祝賀会が近づいてまいりました。それぞれがお迎えする皆様へ喜んで頂けるよう、心を込めておもてなしを致しましょう。

「ロータリアンの行動規範」

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。

■第21回例会

卓話「倒産の危機から年商5億円へ! 町のお弁当屋を改革! 商売から経営へ」

(株) 上間フードアンドライフ 代表取締役社長 上間 喜壽 氏



「食を通して、沖縄の文化を守り、伝え、発展させる」のが経営理念だと語る上間社長

「食を通して、沖縄の文化を守り、伝え、発展」

生まれはうるま市兼箇段、キクの産地で有名なところだが、両親も当初、キク農家だった。上間天ぷらは僕の祖父が沖縄市の胡屋で始め、両親がのれん分けの形で独立し、登川で営んだ。東京の法政大学を出て、会社を継いだ。経営理念は「食を通して、沖縄の文化を守り、伝え、発展させていく」だ。企業向けのケータリングサービスを始め、年明けには高価格帯の会議用お弁当など、仕出しのブランド化も控える。自社で作った、外部向けに「M a n g o」(経営の仕組みの構築を支援するクラウドサービス)というサービスも展開している。両親の弁当屋は当時で売り上げが1億円ぐらいあり、繁盛していると見えた。僕が帰ってくるので、1億円余をかけて工場を造ったために税務調査が入り、追徴金約8千万円ぐらい請求され、負債2億円を背負った。経営がどんぶり勘定だった。手持ちの現金は約400万円しかなく、初任給は4万円。経営の右も左も分からないので、本を買って読むしかない。給料の大半を月30冊の本に充て、妻の家にころがり込んで生活した。まず、22歳と若かったので自己破産してもやっていけるかもと。開き直った。お金の流れをはっきりしないと乗り切れないので、税金と会計をひたすら勉強した。最初の大仕事は銀行交渉と「リスケ」(債務返済の繰り延べ)。とりあえず、支払い延期に応じてもらった。売り上げ増、キャッシュフロー改善に向け、マーケティングを勉強し直した。県内の「中食」の領域の事業者を調べた。一般向けお

弁当の利益率の低さが見えた。粉物の天ぷらは悪くないが、どう収益を上げるか、自社の強み、弱み、沖縄という外部環境の強み、弱み、ライバルの強さ、弱さ一を分析したところ、結論は工場だと。負債の元だが、資産なので武器だと判断した。稼働率を上げれば、必ずキャッシュフローの均衡が整うと戦略を決めた。法人にも一般にも売れる行事向けの商品、沖縄は先祖とのつながりを大事にする社会なので行事法事のマーケットに着目した。持ち帰り弁当屋は、多数男性市場。すぐ価格競争する悪弊から抜け出す狙いだった。まず、認知度とシェア向上のためにポスティングに取り組み、非常に奏功した。次に低コスト出店。うちは6店舗やっいて、「多店舗展開、すごい」と言われるが、非常に低コストで出店しているので、店舗自体の負荷は少ない。お弁当や仕出しは全てセントラルキッチンなので、工場稼働率も上がった。デリバリーをやっている所は非常に少なかった。県内全域にデリバリー展開している。出店をすると配達が増える。マーケティングするとさらに伸びる。セットで売り上げが伸びていくので、店舗当たりの投資効率が高いという仕組みになっている。さらに業務の効率化を図ろうと、ITを導入した。ホームページを作った。意外と夜中に注文がくる。多くの世帯が共働きで法事用の重箱を注文する時間がないので、今は月約500万円をHPから売り上げる。紙伝票をなくし、費用が掛かるPOSに代わりタブレット端末で対応するレジを整えた。売り上げは5倍に増えたが、経理は3人から1人に減った。ほぼ日次で決算を締めている状態まで来た。最近では外部の会社から「すごくいいね」とお声掛けいただき、システム(次ページへ)